

揖斐農林事務所の普及活動状況 令和5年12月22日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■指導農業士 指導農業士会西南濃支部との合同研修会の開催

12月22日、揖斐地区指導農業士会は指導農業士会西南濃支部と合同で視察及び意見交換会を開催し、関係者を含め17名が参加した。視察は有機農産物・無添加物加工品等を扱うスーパー「旬楽膳」（愛知県一宮市）にて、店舗の取組みや経過、販売状況等について情報収集した。また意見交換会では、農業士同士で経営の課題などについて意見交換することができ、有意義な研修会となった。農業普及課では引き続き活動支援を行っていく。



【意見交換会の様子】

■農業婦人クラブ 農業女性の集いを開催

12月8日に揖斐川町地域交流センターはなももで、揖斐地域農業婦人クラブ主催の「農業女性の集い」が開催され、グループ同士の情報交換を目的に8グループ27名が参加した。

今回はクリスマスにちなんだパン作りをテーマに講師はクラブ員が務めた。また、地元でとれた食材を使用した豚汁、おにぎり、おはぎ等もつくり、試食した。終始和やかな雰囲気で行われ、会員同士の交流が図られた。



【農業女性の集いの様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■かき 追従式無人運搬機に実演会の開催

12月18日に揖斐地域果樹産地協議会主催の追従式無人運搬機の実演会が開催され、生産者や関係機関約20名が出席した。実演会では、メーカーから実際に機械を動かしながら説明があり、その後、荷台・車輪の改良や、GPSのアンテナの設置に時間を要すること等意見が出された。この実演会に先立ち、農業普及課は11月24日に生産者の協力のもと追従式無人運搬機を使った収穫作業と通常の収穫作業における心拍数や消費カロリー等の調査を行い、その結果も報告した。

今回は導入に繋がる声はなかったが、今後もスマート農業機械の情報収集を継続実施し、産地維持に繋げていく



【実演会の様子】

■麦 実証ほ場等の生育調査を実施

揖斐地域では6年産の小麦、大麦の栽培が10月下旬から始まり、12月18日に小麦の基準調査ほ場や施肥改善の実証ほ場及び大麦「カシマゴール」の現地実証ほ場の生育調査をJAとともに行った。今のところ、順調に生育しており、今後も定期的に生育調査を行い、収量・品質向上に向け栽培管理の情報提供や、地域の栽培指針の決定に調査結果を活用していく。



【生育調査の様子】

■いちご いちご目揃え会の開催

12月18日、21日、22日に揖斐地域の3組合でそれぞれ市場や全農岐阜等を招いて目揃え会が開催された。目揃え会では、市場からこれまでの出荷物で問題なしとの評価の上で、引き続き出荷規格の厳守、着色の進みによる過熟や傷みなどへの注意喚起があり、生産者同士でしっかり確認を行った。

今年は花芽分化が遅れ、11月21日から初出荷となったが、12月に入り出荷が本格化してきた。農業普及課からは、冬期の草勢維持や病害虫対策等について情報提供を行った。今後も、いちごの長期安定出荷に向けた支援を行う。



【いちごの出荷物の目合わせの様子】

■茶 地紅茶サミットでの嗜好性調査

岐阜大学、(有)サポートいび、岐阜県では、産学官連携で害虫加害茶葉を利用し「密香発揚」を目指した和紅茶の生産に取り組んでいる。12月2、3日に「第21回全国地紅茶サミット in ぎふ」が鶴飼ミュージアムで開催され、農業普及課は、岐阜大学とともに試験製造した和紅茶の試飲とアンケート調査、ポスター発表を行った。

来場者の多くは、全国から集まる紅茶愛好家であり、試験の目的である「密香の発揚」を感じる方が多かった。今後も製品化に向けて継続して支援していく。



【試飲とアンケート調査】

■花き フランネルフラワー「ぼてこ」開花開始

12月中旬から、県育成のフランネルフラワーの新品種「ぼてこ」の開花が池田町で始まり、本格的な出荷は、1月からを予定している。従来主力である「ファンシーマリエ」と比較して花がひとまわり大きく、存在感があるのが特徴である。四季咲性が強く、冬期などの端境期に出荷可能となっている。農業普及課では、9月から花き栽培における天敵を活用した防除実証を調査しており、ハダニの防除に関しては成果があったが、アザミウマ類やヨトウムシ類は一部で確認されており、天敵に優しい農薬によるレスキュー防除の助言等を行っている。

今後も天敵を活用した防除実証に係る調査を継続し、実用化に向けて支援していく。

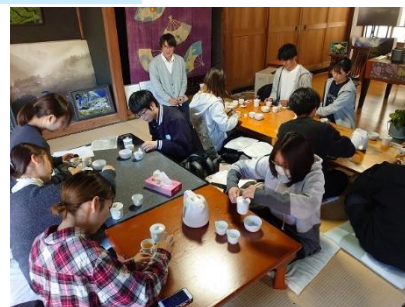


【フランネルフラワー「ぼてこ」】

中山間地域を守り育てる対策

■飛騨・美濃伝統野菜、徳山なんば、春日茶 揖斐の地域食材を囲む会を開催

12月10日に、揖斐川町の春日ティーファクトリーで、岐阜大学里山くらし応援隊の学生を対象に「揖斐の地域食材を囲む会」を農業普及課主催で開催し、揖斐川町内で生産される特産農産物や加工品を学生達に情報提供を行った。囲む会では、無農薬で栽培されている春日茶のテイastingや、料理の試食、薬草を使ったクラフトコーラの試飲や意見交換を行い、地域ならではの味と魅力を伝えた。学生からは「教えて貰った多くの情報を来年の岐大祭や、応援隊の活動に生かしたい」と感想が述べられた。



【春日茶のテイasting】